

2017-2020 トランポリン FIG 採点規則の変更点

2016年11月15日現在

トランポリン審判本部

趣旨

2017-2020FIG 採点規則の原案が発表され、本会においても精査を行ってまいりました。最終的には2017年2月の大陸間審判講習会にて決定される規則ではありますが、来年度からの適用に際し、以下に現時点での変更点をまとめております。

概要

2013-2016の採点規則において、個人競技においてはE得点(演技得点)、D得点(難度得点)、T得点(跳躍時間点)の3つの得点で、シンクロナイズド競技においてはE得点(演技得点)、D得点(難度得点)、S得点(同時性得点)において採点がなされてまいりました。

しかしながら2017-2020の採点規則においては新たにH得点(Horizontal displacement) = 水平方向の移動に対する減点が評価に加わり、これに伴い得点の構成も変化します。

また、採点方法の変更に伴い、主審、E審判員、D審判員の各々の責務、役割も変化します。以下、各条文に基づき、変更点を列記します。

1. 採点方法の変更

2013-2016

個人競技 : E得点+D得点+T得点

シンクロナイズド競技 : E得点+D得点+S得点

2017-2020

個人競技 : E得点+D得点+T得点+H得点-ペナルティ

シンクロナイズド競技 : E得点+D得点+S得点+H得点-ペナルティ

例)

2013-2016

個人競技 : E得点 27.0+D得点 17.0+T得点 18.550 = 62.550

シンクロナイズド競技 : E得点 18.5+D得点 16.0+S得点 18.0=52.500

2017-2020

個人競技 : E得点 18.0+D得点 17.0+T得点 18.550+H得点 8.9-ペナルティ 0.2=62.250

シンクロナイズド競技 : E得点 18.5+D得点 16.0+S得点 18.0+H得点 8.9

-ペナルティ=52.500

2. 得点算出方法 ※ 変更点を記載

E 得点 最大 20 点

個人競技

E 審判員 6 名 (E1~E6) の中間 2 名の減点合計を最大 20 点 (演技の有効種目数による) より減ずる。

※ミディアンスコア (中間得点) 方式の場合、中間 2 名の種目毎の減点を 1 種目 2 点より減ずる。

シンクロナイズド競技

E 審判員 6 名 (E1~E6) が各々 3 名でトランポリン No.1、No.2 の E 得点を採点、No.1・No.2 とともに 3 名の中間減点の合計を最大 10 点 (演技の有効種目数による) より減じ、合算する (最大 20 点)。

※ミディアンスコア (中間得点) 方式の場合、No.1、No.2 の中間 1 名の種目毎の減点を 1 種目 1.0 点より減ずる。

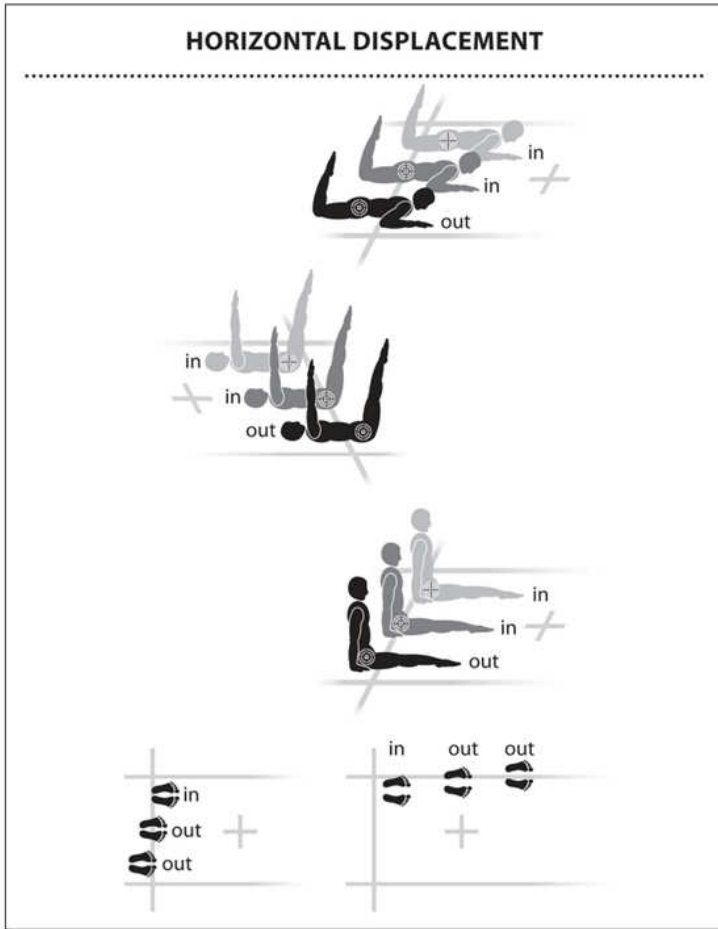
H 得点 最大 10 点

トランポリンベッドの着床場所ごとに決められた減点を最大 10 点 (有効種目数による) より減ずる。

H 得点算出のベッドテーブル

0.3		0.2		0.3
0.2	0.1	0.0	0.1	0.2
0.3		0.2		0.3

なお、H 得点算出のためのベッド上の詳細寸法は現在 FIG 器具委員会で審議中です。



ライン上への着地に関して

腹落ち、背落ち、腰落ちについては腰部の着床位置で判定。

両脚の着床はラインを踏んだ段階で減点が大きなほうで判断

D 得点・T 得点は算出方法の変更なし

合計得点からの減点 = ペナルティの考え方

これまで E 審判員によりなされていた「追加減点」の大部分が合計得点からの減点 = ペナルティとして実施される。

- ・ 服装に関するペナルティ : 合計点から 0.2 点
- ・ 演技開始時間のペナルティ : 61 秒超 合計点から 0.2 点
91 秒超 合計点から 0.4 点
121 秒超 0.6 点
181 秒超 失格
- ・ コーチ等からのアドバイス : 合計点から 0.6 点 (回数にかかわらず)
- ・ 第一演技における特別要求欠如 : 合計点から 2.0 点のペナルティ
- ・ 追加種目 (11 種目以上) : 合計点から 2.0 点のペナルティ

3. 審判員

廃止される審判員 : T (跳躍時間) 審判員・S (同時性) 審判員・シンクロナイズド競技の副主審

主審の役割 : 変更点 (追加点) のみ

跳躍時間・移動減点・同時性得点測定装置の操作は主審が行う。

E 審判員の役割 : 変更点のみ

H 得点 (移動減点) を除く、E 得点の採点。

追加減点は着地に関する減点(0.1、0.2、0.3、0.5、1.0 点のみ)※ アウトバウンスに関する減点は 0.1 まで、着地の歩数に関しては 0.2 まで、合計 0.3 点まで

H 得点測定機がない場合、E 審判のうち 2 名 (E5・E6) が H 得点を採点する。

4. 第 1 演技の特別要求

①270 度以上の宙返りを伴う、異なる 10 種目で構成

②競技カードにて * 印をつけた 4 種目は D 得点を伴うものであること、その D 得点は第 1 演技の得点として加算される

③②の 4 種目は第 2 演技で使用することはできない。

5. タンブリング・ダブルミニトランポリンにおける変更点

ペナルティの考え方

トランポリン同様、下記項目はペナルティとして合計点から減点を実施

共通

- ・服装に関するペナルティ : 合計点から 0.2 点
- ・演技開始時間のペナルティ : 21 秒超 合計点から 0.3 点
- ・コーチ等からのアドバイス : 合計点から 0.9 点 (回数にかかわらず)

タンブリング

- ・ランディングエリア以外への着地 : 合計点から 3.0 点
- ・トラック・ランディングエリアから外に出た場合 : 合計点から 1.5 点
- ・ランディングエリア線内から外へ出た場合 : 合計点から 0.3 点
- ・パスにおける特別要求欠如 : 合計点から 3.0 点のペナルティ

ダブルミニトランポリン

着地に関するペナルティ

- ・ゾーン B への着地 : 合計点から 0.9 点
- ・ゾーン C への着地 : 合計点から 1.5 点
- ・ゾーン A から B ないしは B から C への移動 : 合計点から 0.3 点

D 得点の変更

タンブリング

- ロンダード、後方転回（バク転）、前方転回 : 0.1 点
- テンポ宙返り : 0.2 点

以上